

# 四国靈場巡りに 参加して

高 助  
山 本 喜世子



平成十年度の靈場巡りが、十月八日、九日と行われた。晴天に恵まれ、元気に定刻通り朝日寺を出発する。例年より暖かい朝だった。

今回は、涅槃の道場と云われる香川県一泊二日の行程、十四ヶ寺を巡拝する。磐若心経を奉唱し、道中の安全を祈念する。バスは渋滞もなく、快適に走る。午前八時すぎには最初のお寺へ到着する。馥郁とした金木犀の香りが漂う出雲寺。美しい老松のある曼荼羅寺。四年前と全く変わっていない。バス乗場では、抹茶ジュースをお接待して頂く。喉が乾いていたのでとても美味しかった。甲山寺を参拝し、善通寺市へと入る。お寺のシンボルの五重の塔が見えてくる。堂塔は唐の青龍寺を模して作られ、寺の名前はお大師様の父上の名をとつて善通寺と名づけられたとか。山門をくぐればまず御影堂がある。手入れの行き届いた広大な境内には本当に驚かされる。御影堂には戒壇

めぐりがあることで、私も参拝をす

ませると、戒壇へ下りて行った。真暗な中を左手で壁を伝わって進む。何も見えず心細く又、怖い思いがして、「南無大師遍照金剛」が自然に口に出て来る。中程にお大師様がお生れになつた下の所に祭壇が設けられており、そのほのかな御灯明の明るさでほつとする。随分長い時間が経った様に思えた。善通寺の参拝をすませて、少し早い昼食を四國館で頂く。お土産を買つたり、しばしの休憩の後、金倉寺、道隆寺を巡拝して讃岐まんのう公園を訪ねる。満濃池の隣にこんな立派な公園が、と思う。美しい花壇、小高い山、そして人工ではあるが滝もあり、水の流れ落ちる音は心地よい涼を誘う。小中学校の児童生徒が大勢来て居る。楽しそうに歓声をあげたり、お弁当を食べたり、小高い丘を滑りおりたり、本当にどのである。

公園を後にして、郷照寺、天皇寺、戸大橋温泉に着く。温泉に入つて一日の疲れを取り早目に床につく。

翌朝も気持ちよく晴れ、巡拝するのに汗ばむ陽気となる。白峯寺で記念写真を写して頂く。五色台スカイラインを通り、根香寺へ向う。立派な道路のお陰で私達は随分楽に巡拝が出来る様になつたと感謝する。根香寺、一宮寺と難なく参拝し屋島寺へ。屋島寺では、本殿横に祀られている狛の像の横で一枚写真を写して貰つた。ここで昼食をすませ、最後のお寺、八栗寺へと向う。

ケーブルカーで山上へ上る。山麓の家々を眼下に望みながら、紅葉はまだの山へと上つて行く。八栗寺の参拝を終ると、さすが五剣山の上、吹く風に秋をしつかり感じた。

最近オーブンしたデパート。お気に入りのものがあった人はお買物を楽しめた様だ。高松港よりエリーで帰路に着く。時間に余裕があつたので高松そぞうへ寄つて見る。これが出来て本当にやつた。お世話を下さった朝日寺様。総代の島岡様、バスのドライバーの方、そしてガイドさん、皆様のお陰で、楽しい巡拝をすることが出来ました。これからお礼申し上げます。



開谷学校

# 春の寺めぐり

菩提時を真近に望む場所に造成された霊園も、段々、区画が埋まり十区画ばかりを残すのみとなりました。新しい霊園の造成は中々難しいのが現実です。必要な方はこの機会にお求め下さい。

一区画(2.5m × 3m) 七・五mで  
管理費 年三千六百円です。  
六十万円。

## 朝日寺墓苑

# 役員名簿

(○総代長、○副総代長)

大敷	中井	東川野	澄男
東市	井島	岡篤	
西松	井藤	立男	
大土	千種	司郎	
市守	森	景智	
庄久	藤作	司	
助根	田中	利夫	
井田	木村		
井内	鶴夫		
井岡	利		
井篤	功		
井翼			
井一郎			
井俊雄			
井克己			
井勲一郎			
井久本			
井根			
井山			
井根			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			
井智子			
井昭子			
井靖江			
井和香			
井喜世子			
井夜子			
井常子			
井五月			